



CONTENTS

特集	定時総会報告	表紙
	総会質問回答	2
	理事長挨拶/新役員紹介/	
	各区役員紹介/企業表彰紹介一覧	4
	各出張所紹介	7
	刈払除草実技講習会	9
	7区通信/就業先情報	10
	会員紹介/会員のひろば	14
	わが町ぶらり	15
	ちょっといい話/事故・実績報告/お知らせ	裏表紙

令和3年度 定時総会報告



令和3年度定時総会は、皆様のご協力により、無事に開催することができました。(会員総数6,779名のうち、委任状提出者4,124名、議決権行使者671名、当日参加者17名、合計出席者4,812名)

定時総会は、午後2時に内田理事長が開会を宣言し、議長団(議長:城千賀男さん(西区)、副議長:菊堂民生さん(東区)、小山田豊明さん(博多区))が選出され、審議の結果、全議案が原案どおり可決されました。

役員の選出議案が承認・可決されたことにより、理事3名および監事1名が就任され、この総会をもって退任される役員の紹介がありました。役員の皆様には、センターの発展にご尽力頂きまして、ありがとうございました。

今回も、密を避けるために、極力書面での議決権行使や委任状の提出にご協力頂きました。会場も昨年と同じセンター事務局が入居する福岡県交通安全協会ビルとしました。



定時総会出欠届の裏面にご意見・ご質問欄を設けさせていただくとともに、YouTubeでの動画配信を行いました。

なお、お寄せいただいたご質問に対するセンターの考え方を、2、3ページに示しています。

会員の皆様方には、これまで同様、センター事業を盛り上げてくださいますようお願いいたします。



寄せられた質問について



令和3年度の定時総会にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面での議決権行使や委任状の提出にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

また、貴重なご意見やご質問を多数お寄せいただきありがとうございました。

主なご質問に対するセンターの考え方を次のようにお示します。

会員拡大

コロナ禍の影響で求人が少ないのに新入会員を募集されるのは？

考え方

令和2年度は、コロナ禍の影響を受け、請負・委任については、契約金額が令和元年度と比較して10%近く落ち込む結果となりましたが、公共業務（駐輪場、街頭指導、公園除草清掃業務等）や民間業務（剪定、家事援助業務等）、派遣業務においては、お客様の要望に対して就業会員の皆さまの人数が不足しています。

コロナ禍の収束も見据え、地域社会の多様なニーズに応えていくためにも、より多くの仲間（高齢者の方々）の知恵と経験が必要であると認識しており、今後とも会員拡大に努力してまいります。

顧客満足度

作業結果等についてのお客様の声は？

考え方

毎年、お客様からの意見を今後の事業運営に生かすため発注者満足度調査を実施しており、会員の皆さまの仕事ぶりに、87.9%の方が「大変満足」「満足」と回答いただきました。（定時総会議案書13p参照）

お客様より、お礼の言葉やお手紙を頂くことも多く、可能な場合は「シルバーだより」に掲載しておりますのでご確認ください。

また、出張所にいただいたお客様のご意見等は、就業会員の皆さまにご連絡しています。何か気になることがあれば、出張所にご相談ください。



就業開拓

多様な就業先の確保をお願いしたい。

考え方

大手スーパー・量販店などの流通業界や、幼稚園・介護施設などの福祉・サービス業界等、人手不足分野や現役世代を支える分野を中心に、新たな就業先を開拓しているところであり、今後とも、就業機会の確保に取り組んでまいります。



就業年限 就業年限はあるのか？

考え方

当センターは会員の皆さまへの公平な就業紹介を図ることを目的とした「就業年限」を設けております。

「就業年限」は、原則として同一発注者、同一就業内容での継続就業は1年間とし、2回まで延長可能(3年間まで)です。

なお、駐輪場指定管理業務など業務上特別な事情がある場合は、例外的な取り扱いがあります。

指定管理

中央区の駐輪場管理運営業務委託の指定管理について、選定されなかったことに対する考えは？

考え方

当センターは高齢者のための地域に根差した団体としての社会的有用性と、長きにわたる駐輪場指定管理者としての経験に基づいた堅実な駐輪場管理を行っていることを踏まえた提案を行いました。提案金額で差がついた結果、僅かに及ばなかったことは大変残念に思っています。

今回の公募において、他社はITの活用等自社の得意分野を生かす提案や必要経費額の大胆なコスト削減を行い応募しています。

今回の結果を精査し、当センターはどのような対策ができるのか検討しながら、指定を受けた区においてこれまで以上に創意工夫を重ねた運営を行うことで、次期提案では捲土重来を期したいと考えています。

情報化

インターネットなど情報化社会に向けた取組は？

考え方

センターからのお知らせや就業情報などをパソコンやスマートフォンから閲覧することができる会員専用サイト「Smile to Smile(スマイル・トゥ・スマイル)」を、2018年より開設しております。

smile to smileを利用するとパソコンやスマートフォンで配分金支払日当日に明細を見ることができます。また、今後は請負就業情報や研修などのイベント情報等も配信してまいりますので、ぜひご登録ください。(登録をご希望の方は、事務局または出張所までご連絡ください)

😊 Smile to Smile



お詫びと訂正

今般お届けの定時総会議案書におきまして、以下のとおり一部記載に誤りがございましたので、ここに訂正し、お詫び申し上げます。

■正誤表

頁数	区分	誤	正
目次	報告事項1	令和 <u>元</u> 年度予算実績比較報告	令和 <u>2</u> 年度予算実績比較報告
目次	報告事項1-I	令和 <u>元</u> 年度予算実績比較報告書	令和 <u>2</u> 年度予算実績比較報告書
P1	議案第1号	令和 <u>2</u> 年5月31日	令和 <u>3</u> 年5月31日

内田理事長挨拶

令和2年度は、新型コロナウイルスという未知のウイルスによって、世界全体が大きな影響を受けた1年となりました。

わが国でも3回目の緊急事態宣言が発出されるなど、社会経済活動は大きく阻害され、未だに収束の兆しが見えない状況にあります。

当センターでも、コロナ禍により年度当初は入会説明会の中止を余儀なくされ、その結果、9年ぶりに会員数7千人台を回復した令和元年度から一変し、会員数が6千人台に戻ってしまいました。

また、請負・委任については、契約金額が令和元年度と比較して10%近く落ち込む結果となりました。

ただ、そのような中でも、一般家庭分野における生活に密着した介護予防・日常生活支援総合事業に係る契約金額は58%増と大幅に伸びるとともに、派遣事業についても12%増となりました。

これらはひとえに、会員の皆様をはじめ、関係各位のご尽力並びにご支援の賜物です。ここにあらためて敬意を表するとともに、感謝申し上げます。



理事長

うちだ としお
内田 敏夫

コロナ禍という非常に厳しい状況ではありますが、「人生100年時代」の到来の中で、高齢者の豊富な知識や経験を生かした就業を通じて、地域社会の活性化にも貢献しているシルバー人材センターの役割は、ますます重要なものとなっております。

コロナ禍で社会が閉塞している今こそ、会員相互、社会との「つながり」の大切さを再認識して、更に多くの会員を迎え、力を尽くしてまいりたいと思います。

結びに、会員の皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

◆新役員紹介

非常勤理事(各種団体推薦)



はしもと じゅん
橋本 淳



ひらい しんご
平井 真吾

専任担当理事



おのだ しゅんいち
苧園 俊一

監事



はやし のりこ
林 紀子

◆引き続き就任中の理事・監事

常任理事

永田 淳一

非常勤理事(各種団体推薦)

舟越 伸一

猪野 猛

小田原 睦子

区委員長を兼ねる理事

小林 秀範

坂稻 正志

松山 理

安村 功雄

橋本 修一

波多江 弘和

生島 和憲

専任担当理事

福江 帳留

大谷 米造

櫻井 とし子

小早川 順子

監事

渡部 武彦

令和3年度各区役員紹介

※令和3年6月1日現在

	副委員長	職群班長		地域班長(地域班リーダー※)					
東 区	菊堂 民生	前田 哲男 (剪定)	鈴木 龍雄 (駐輪場)	川添 伸悟 (西戸崎)	小野田 弘芳※ (和白東B)	福本 貴敬 (香椎東A)	竹崎 壽郎 (城浜A)	鴨川 勝弘 (青葉)	中嶋 正敏 (東箱崎)
		宮崎 祥四郎 (刈払)	宮崎 明 (街頭指導)	入江 さち子※ (奈多)	野田 與四男 (香住丘A)	行徳 憲司 (香椎東B)	山口 政徳※ (城浜B)	田上 栄一郎※ (八田)	寺坂 重一※ (馬出)
		穂積 陽 (除草)	竹内 青子 (福祉家事援助)	辻 良成 (和白)	淵上 勝也※ (香住丘B)	網本 勝正 (香椎浜)	森 俊明※ (名島A)	綿井 修 (多々良A)	吉村 義孝 (箱崎A)
	古賀 保子	藤澤 史子 (筆耕)	片平 裕二 (広告)	豊村 睦男 (美和台A)	野澤 喜久雄 (香椎下原A)	塩塚 喜信 (千早・香陵)	八尋 広道※ (名島B)	中園 正志 (多々良B)	城戸 篤子 (箱崎B)
				西尾 則光※ (三苫・美和台B)	中川 和博※ (香椎下原B)	清水 秀治 (原田)	山中 正夫※ (舞松原)	木寺 敬一※ (松島)	
				曽我部 一夫 (和白東A)	鶴 則生 (香椎)	喜多 美※ (千早西)	西岡 博光 (若宮)	安河内 成一※ (筈松)	
博 多 区	小山田 豊明	花田 弘行 (剪定)	小原 守 (駐輪場)	鳥羽 國敏※ (博多1)	小代 千静 (古塚)	佐藤 聡※ (三筑2)	小関 公則 (板付北2)	岡本 章※ (板付1)	
		若杉 正男 (刈払・除草)	行武 好巳 (街頭指導)	清田 隆行 (博多2)	岩本 文雄※ (席田)	佐藤 修一※ (春住)	有働 道夫※ (弥生)	森本 道雄※ (板付2)	
		徳丸 孝子 (筆耕)	日野 凡夫 (除草)	井上 勝登※ (住吉)	牟田 正晴※ (月隈)	守松 貞雄※ (堅粕)	野見山 博※ (宮竹)	城戸 篤 (那珂南1)	
	福沢 イサ子	近藤 博子 (福祉家事援助)	池子 常夫 (東平尾公園)	吉田 信幸※ (美野島)	光安 知之 (東月隈1)	成吉 幸三※ (東光)	佐伯 五吉 (那珂1)	橋本 直邦※ (那珂南2)	
		久保山 勇夫 (学校法人滋慶学園)	原口 敏郎 (東福岡高校)	玉井 博※ (千代1)	星野 勝則 (東月隈2)	小山 武輝※ (東古塚)	吉村 清則※ (那珂2)		
		田村 克代 (福岡アジア美術館)	原口 敏郎 (大谷広場)	古賀 俊弘※ (千代2)	野村 耕一 (三筑1)	下田 芙美代 (板付北1)	阿部 百合子※ (那珂3)		
中 央 区	津田 康司	大塚 博行 (剪定)	沖永 俊郎 (街頭指導)	松岡 貴美子※ (赤坂)	山本 拓治 (草ヶ江2)	嶋田 しづ子※ (高宮)	植崎 義春 (当仁2)	末広 勝 (福浜1)	塩澄 三郎 (舞鶴)
		廣渡 修一 (除草)	真鍋 晃 (撤去・保管所)	鷲海 弘二 (小笹1)	酒見 暁 (警固1)	片山 進※ (笹丘1)	藤井 二佐代 (春吉)	北村 五郎 (福浜2)	
	増田 由美	徳淵 憲子 (筆耕)		桧垣 雅道 (小笹2)	樋水 公二※ (警固2)	荻野 信行 (笹丘2)	熊谷 勝徳 (南当仁1)	古賀 皓一※ (平尾)	
		平井 久子 (福祉家事援助)		沖永 俊郎※ (草ヶ江1)	丸尾 和弘※ (簗子)	佐野 格 (当仁1)	安藤 栄三郎※ (南当仁2)	吉原 憲二 (薬院)	
南 区	鳴岡 裕司	竹原 捷司 (剪定)	藏本 栄吉 (街頭指導)	堀之内 斉 (高木)	塚本 勇一 (弥永西)	服部 洋子 (西高宮2)	平原 悦男※ (若久1)	後藤 芳男※ (老司)	五藤 高久 (西長住)
		井上 輝美 (刈払除草)	阿部 和代 (福祉家事援助)	市川 博※ (塩原)	渡辺 敬一※ (東花畑)	溝口 多紀夫※ (三宅1)	小沼 信幸 (若久2)	泉 善昭 (日佐)	溝部 修二※ (鶴田)
		長田 進二郎 (除草)		高倉 鍊一郎 (横手)	本村 登※ (野多目)	興梠 照夫 (三宅2)	松尾 賢治 (大池)	中牟田 昭吾 (柏原)	池田 展祥※ (東若久)
	藤林 俊子	荒木 江美子 (筆耕)		田平 可奈※ (弥永1)	樋口 由紀子 (大楠)	津山 正憲※ (筑紫丘)	徳重 和則 (花畑)	西井 裕子 (西花畑)	額川 功 (玉川)
		塩塚 信昭 (駐輪場)		前田 久雄 (弥永2)	的野 哲 (西高宮1)	平田 信治 (長丘)	深澤 徹※ (宮竹)	桑原 令子 (長住)	
城 南 区	衛藤 忠済	安藤 典八郎 (剪定)	仲田 典夫 (駐輪場)	吉村 直美 (城南A)	丸山 龍弘 (別府A)	檀浦 晴美 (田島B)	原 政江※ (七隈A)	泉 耕一郎 (片江B)	仲田 典夫※ (堤)
		村本 繁 (刈払)	上田 清 (街頭指導)	安次嶺 清 (城南B)	木本 憲治 (別府B)	池内 ツギヨ※ (金山A)	下林 正孝 (七隈B)	大坪 佐重喜 (長尾)	原田 謙一※ (南片江A)
	市澤 定代	木村 誠二 (除草)	吉岡 寛子 (福祉家事援助)	池田 晴夫※ (鳥飼)	篠原 宏※ (田島A)	恵良 征一郎 (金山B)	友廣 清二 (片江A)	高野 きくえ (堤丘)	徳永 玲子 (南片江B)
早 良 区	中野 清	尼ヶ崎 雄文 (剪定)	永松 公一 (駐輪場)	谷脇 陽子※ (田村)	田口 千津子※ (飯倉1・飯倉中央)	鶴石 初江 (有住)	天野 俊實 (賀茂1)	中村 義彦 (原北)	安部 啓子 (西新)
		岩崎 利乗 (刈払)	寺崎 憲 (街頭指導)	岩崎 利乗※ (内野1・曲淵)	永野 京子 (飯倉2)	山川 泰生 (有田1)	木下 明美 (賀茂2)	小田 泰三 (高取)	柳田 文夫 (早良)
		結城 哲 (除草)	堀崎 和夫 (資源回収)	佐藤 義国 (内野2・脇山)	江口 良太※ (百道・百道浜)	河野 正治 (有田2)	田嶋 康弘 (原)	藤田 哲彌 (四箇田1)	川原 ユリ子※ (大原1)
	柴田 昭枝	姫野 美代子 (筆耕)	山本 義人 (早良パーク)	大浦 慶子 (入部)	原 賢一郎※ (野芥1)	小川 安信 (田隈1)	山口 玲子 (原西1)	富田 正行 (四箇田2)	大村 弘子※ (大原2)
		内山 淳子 (福祉家事援助)	渡辺 良二 (区役所駐車場)	山口 千佐子※ (飯原)	庄島 勇次 (野芥2)	安藤 和彦 (田隈2)	松原 一美※ (原西2)	島田 孜※ (室見)	石橋 義則※ (小田部)
西 区	平田 博士	古賀 孝 (剪定)	森井 眞三 (駐輪場)	橋本 哲 (愛宕)	吉川 秀興 (石丸南)	田添 利光※ (荻坂東)	井上 榮 (愛宕浜)	西原 隆弘 (下山門団地西)	谷口 展也※ (周船寺北)
		松尾 治生 (刈払)	井上 正幸 (街頭指導)	宇佐美 加代子※ (内浜東)	加藤 健一※ (福重東)	神野 誠二※ (荻坂西)	北 龍子 (姪浜)	応戸 義孝 (今宿)	瀧川 秀一 (周船寺南)
		藤木 洋子 (除草)	渡辺 義郎 (バイパイドーム)	倉田 ひろ子※ (内浜西A)	石部 圭子 (福重西)	田中 雄一 (荻坂南A)	小島 拓 (姪浜南)	行弘 豊 (今宿南)	深町 光治 (元岡)
	中嶋 雅子	福島 妙子 (福祉家事援助)	榊永 恵美子 (筆耕)	園田 初美※ (内浜西B)	大園 信義 (城原)	田久保 知敏 (荻坂南B)	金井 勝信 (金武)	松下 節子 (玄洋A)	城 千賀男 (今津北崎)
		松本 和子 (子どもプラザ)		有浦 信泰※ (石丸北)	大場 敬子※ (荻坂)	宮崎 秀輔 (西陵)	岩野 忠 (下山門)	岡田 弘※ (玄洋B)	

令和3年度各区役員紹介

※令和3年6月1日現在

	広報委員	互助会業務委員	運営業務担当							
			基幹事務		公共	安全・適正	福祉家事援助	派遣	会員拡大	総合事業
東区	宮川 洋	川畑 喜與登	八尋 広道	幸 康二郎	田中 良幸	菊堂 民生	渡邊 文子	大塚 真一	下瀬 克人	入江 さち子
			武田 幸雄	加来 裕章	藤澤 守					
博多区	松崎 広昌	畑中 敏子	福沢 イサ子	山村 里美	小山田 豊明	川島 良一	畑中 敏子	中村 和人	川島 良一	
			切原 利郎		塩川 寛				畑中 敏子	
					中村 和人					
中央区	大津 英世	森川 鈴江	津田 康司	松本 眞理子 (休職)	齊藤 一	柳原 正史	増田 由美	榎園 修	津田 康司	西園 眞澄
			若林 哲夫	平井 智子						
			森川 鈴江		菓子野 富造		世利 通子		榎園 修	
南区	伊藤 建規	鳴岡 裕司	柴田 豊喜	川崎 幸範	松原 吉隆	宮川 晃	藤林 俊子	林 起生	鳴岡 裕司	
			久家 勝子	後藤 こすえ	久保 一徳					
城南区	池末 一弥	大石 渡	光吉 秀雄	衛藤 忠済	鳥飼 清紘	田浦 晃幹	伊藤 せつ	田中 陽子	篠原 彰一	
早良区	金田 博保	伊藤 さつき	中野 清	吉富 秀樹	松本 喜久雄	三坂 利明	永富 満代	森垣 彰夫	大林 登久子	
			柴田 昭枝	伊藤 さつき	木下 勇治					
西区	川口 雅正	木塚 和美	平田 博士	中嶋 雅子	大西 秀人	柴田 文男	馬原 なぎさ	中畑 秀一	塩塚 浩子	田中 恭子
			加藤 俊一郎		木塚 和美					

令和3年度 協力事業所顕彰について

令和3年度の協力事業所顕彰の対象事業所が、5月31日開催の定時総会において発表されました。

協力事業所顕彰は、当センターの趣旨を深くご理解いただき、安全・適正な就業環境のもと、長年にわたり会員への就業機会を提供された事業所に対して、感謝状を贈呈するものです。

今後、各事業所を訪問し、感謝状を贈呈いたします。

また、シルバーだよりの「就業先情報」で順次、各事業所をご紹介します。

●令和3年度協力事業所顕彰対象事業所

東区	名鉄ゴールデン航空株式会社 福岡営業所
城南区	社会福祉法人きりん会 きりん保育園
	学校法人やなぎ学園 きりん幼稚園
早良区	福岡市立老人福祉センター 早寿園
西区	社会福祉法人福岡市民生事業連盟 特別養護老人ホーム 歴史の里
派遣	株式会社三協デリカ 福岡工場
	社会福祉法人 TheWAY たんすい保育園
	社会福祉法人アイリス





各出張所紹介



※集合写真撮影時はマスクを外して撮影しています。

博多出張所

坂稲委員長のひとこと

博多出張所は12名体制で業務を遂行しており、会員の皆様に少しでも多くの就業機会を供給できるように取り組んでまいります。

また、令和3年度は是非とも新型コロナウイルスが収束し、本来の日常が戻って来る事を心待ちにしております。



中央出張所

松山委員長のひとこと

前年同様、新型コロナ感染拡大防止策を講じながら、所員一同ワンチームとなって職務遂行に万全を期します。

会員の健康と安全・適正就業を前提に、就業機会の創出などみんなで協力し合い、お客さまと会員の皆様に一層信頼される明るい出張所を目指します。

南出張所



安村委員長のひとこと

かつてない危機的環境下においても、地域の皆様からのお仕事依頼は堅調に推移しています。

今後もますますシルバー人材センターの存在意義は高まっていくことでしょう。

コロナ対策を徹底して、地域の期待に応えていきましょう。

会員の皆様のご意見をお待ちしています。



城南出張所



橋本委員長のひとこと

新型コロナ禍における「新しい生活様式」が模索されるなか令和3年度がスタートしました。年度目標は「会員拡大」「就業開発」に力を注ぐこと、「事故ゼロ」「シルバー活動の見える化」に取り組むことを掲げました。加えて「健康診断受診報告書の提出50%」を目指し事務所員一同邁進いたします。何なりとご相談ください。事務所隣の交流拠点「DonDon」にもお立ち寄り頂き100円コーヒーをご賞味ください!

早良出張所

波多江委員長のひとこと

今年の新型コロナウイルスでは、感染力が強い変異株に警戒が必要です。

早良出張所では、3名の交替があり新体制で頑張っております。

共働、共助、和を大切に明るい職場作りと会員の皆様に信頼される出張所を目指して参ります。皆様のご協力をお願い致します。



西出張所



生島委員長のひとこと

新型コロナ感染収束の兆しが未だ見えない中、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。前年度は感染予防のため多くの活動を中止せざるをえず、大変残念でしたが、今年度は皆様方のご期待に応えるべく、感染対策を強化して、7区通信で示す目標に向かって西出張所全員で努力します。なお先が見通せない中、率直なご意見・ご要望をお寄せ下されば、よりよい活動を行う上で大変参考になります(連絡先:西出張所/TEL881-4680/FAX881-4761 就業希望の方からのご連絡もお待ちしております)。皆様方のご支援を宜しく申し上げます。

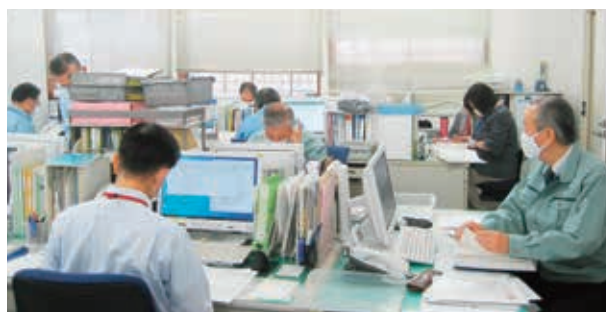
東出張所

小林委員長のひとこと

東出張所は、小林委員長以下15名(就業機会創出課1名含む)の体制です。

新型コロナウイルス感染症は、世界的規模で感染が拡大して私たちの生活を一変させました。

シルバー人材センターでは、時代に応じた変化が求められています。我々は、そのような変化を冷静に見つめながら、会員相互、社会との「つながり」の大切さを再認識して、東出張所職員一丸となって令和3年度目標に向かって万全を期す所存です。



刈払除草実技講習会

ここ数年、就業上の石飛事故が多発し、多額の賠償金が保険会社から支払われるようになっていきます。事故を減らさない限り、保険会社からは契約を断られるといった危機的な状況があり、事故撲滅を目的に班長をはじめとする会員主導の刈払除草実技講習会を一齐に実施しました。

4/6(火) 東部ブロック刈払除草実技講習会(貝塚公園)

4/8(木) 西部ブロック刈払除草実技講習会(野方中央公園)

4/14(水) 中部ブロック刈払除草実技講習会(東油山公園)



講習会の目的

- (1) 刈払作業者の安全意識を醸成し、作業開始前の事前準備から作業完了までの、一連の流れを理解する。
- (2) 刈払機の操作方法や飛散防止用ネットの張り方などの基本動作を身につけ、各現場で実践する。



講習は、次のプログラムで実施されました。

- ① 準備体操
- ② 安全3箇条を唱和
- ③ 飛散防止用ネットの設置法と刈払機操作や芝刈機操作の実演
- ④ ダブルスリット型チップソーとハサミ刈り方式アタッチメントのカルマー実技

知っていることと使いこなせることは別です。

学んだことは実践し、体で覚えて事故を減らしていきましょう。



※ 剪定・刈払の安全・適正就業基準(マニュアル)が改定されておりますので、必ずご確認のうえ、今後のお仕事にご活用ください。

城南区 じょうなんく

剪定安藤班



4月7日(水)午前8時に、剪定の安藤班6名の会員が城南区東油山のK邸の庭に集合しました。鬱蒼と茂った樹木の中を、安藤班長から剪定内容の説明があり作業が開始されました。

6名の会員の中に紅一点の大隈清美会員が目を引きました。

昨年10月に入会し「自宅の庭木の剪定が出来たらいいな」との思いで剪定班を希望し、11月から就業したそうです。安藤班長から「貴重な人材で、多くの

女性会員の参加のきっかけになる事を願っています」と話されました。

班の中で最も高齢の古川会員(76歳)は剪定班に就業して10年のベテランで、「元、建設業の仕事をしていたので高い所は慣れている」と元気滂瀾に作業をしていました。

午後5時過ぎには広い庭も見違えるように剪定され、ご主人は「明るく清々しい庭になりました」と会員皆さんに感謝の気持ちを述べられました。



広報委員 小寺 勇吉

早良区 さわらく

生活支援サービス従事登録者会議



早良出張所会議室で3月17日(水)8名の登録会員が出席し、標記の会議が開催されました。櫻井専任担当理事の挨拶から始まり、続いて就業機会創出課川野職員が講師となっ

て、下記の説明が行われました。

まずは「積極的傾聴と主張の伝達」という意味の「アクティブリスニングとアサーション」について詳しい解説がありました。それは、相手の話を十分理解し、また相手の考えを尊重しながら対等に自己主張していくコミュニケーションスキルです。

その後、登録会員が一人ずつ今の仕事の状況や体験談を披露し、それに応じて同職員が各会員に就業時に気を付けるべき事等を助言し、相互理解を深めました。

室見川緑地刈払除草作業開始



早良区公共公園除草班(通称早良パーク班)は4月21日(水)から、今年の刈払除草の作業を開始しました。この日午前7時30

分からのミーティングでは25名の担当会員出席のもと、波多江委員長、平野職員、現場管理者大久保会員より挨拶及び注意事項等の説明後、作業がスタートしました。

まずは中村家具に近い室見川緑地入口付近の公園が作業対象です。冬から春先にかけて積もった落ち葉を松葉帚でかき集め、石などの飛散防止用のネットを張って生い茂った草を刈払機で刈取り、トラックに積み込む作業を続けました。

夏場に向けて、川沿いの公園や緑地の非常に広い範囲を作業していくことになります。

広報委員 金田 博保

西区 にしく

令和3年度西出張所活動目標 (全員で頑張ります)

会員数を1120名まで拡大し、会員の適正就業を確保するため関係法令・規則を遵守し、発生件数5件未満をめざして会員の事故防止に努力し、派遣(特に企業向け派遣)による就業を推進し会員の幅広い就業先の確保に努めます。

事故撲滅に懸ける一会員 松尾治生のシルバー人生

西部ブロック刈払除草実技講習会が西区刈払職群班長松尾治生氏を講師として4月8日に開催され、東部ブロックと中部ブロックでも同様の刈払除草実技講習会が開催されました。事務局の旗振りによる全ブロック挙げてのこ

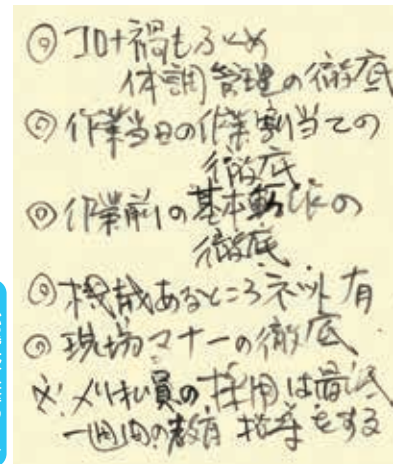


2021年4月21日の松尾氏の近影

のような講習会開催の背景として、事故撲滅に懸ける一会員松尾治生氏の執念のシルバー人生があるようです。

刈払除草に伴う事故の危険性に関する従来の認識の甘さを逆風の中でも指摘し、安全確保のための現場経験者による実技講習会の重要性を機会あるごとに訴えてきた松尾氏の篤い思いが実ったようです。

自らの長年の体験と実践に基づき刈払除草作業の安全確保のための鉄則として松尾氏が掲げるのは松尾氏直筆のメモのとおりです。松尾氏は「刈払員の採用



▶松尾氏直筆のメモ

は最低一週間の教育指導をする」ことが安全確保の上で最も重要であり、また外部講師ではなく現場経験者による教育指導や事務局・出張所・現場の一致団結が大事であると力説されています。

広報委員 川口 雅正

東区 ひがしく

剪定・手取除草安全・ 適正就業講習会



3月11日(木)なみきスクエア(東市民センター)で、午前中に剪定班(会員24名出席)、午後に除草班(会員12名出席)と分かれて開かれました。

最初に「事故防止に努めましょう」との小林委員長、大谷・福江両専任担当理事のあいさつがあり、引き続き事務局の清水職員から事故発生状況や賠償額、年度別の事故発生件数の推移などが紹介されました。



特に令和2年度に発生した事故については、それぞれの事故の写真をスクリーンに映し出して詳しく解説されながら「事故を防ぐにはどうすれば良かったか」の意見交換が行われ「ロープやブルーシートの有効活用で防げたのではないかな」などの活発な意見が交わされました。

その後、コンプライアンス(法令遵守)の説明と保険取扱代理店(株)ジェイアイケイの亀井社長から傷害保険や賠償責任保険は「どんな時に出るのか」についての話がありました。

最後に、渡部監事と小林委員長が「体力の低下を自覚し、余裕を持った作業で、事故ゼロをめざしましょう」とまとめられて講習会は終了しました。

広報委員 宮川 洋

博多区 はかたぐ

地域班長会議



4月23日(金)10時から博多出張所会議室で役員会の部の地域班長会議が行われました。
坂稲委員長より今年度のスローガンとして

①会員拡大(1000人目標)

(入会者の増加、退会者の減少へ向けた取り組み)

②就業領域の拡大(派遣事業の拡大)

(介護分野・保育分野・量販店・事務職等々)

③安全・適正就業の推進

(安全・適正就業の徹底浸透で、事故ゼロを目指す)

次いで新任の席田地区岩本会員と板付(1)地区岡本会員が紹介されました。

小山田副委員長からコロナワクチンの接種予想は5月から6月にかけてではないかと報告されました。

川島安全・適正就業担当から昨年度は17件の事故が発生し重大事故も2件あり一昨年の7件より大幅に件数が増えてしまっていますとの報告がありました。

個人の体力維持には体操が一番で、毎日のラジオ体操もよいかもしれません。

最後に委員長から6月の地域懇談会は公民館やサザンピアなど会場を探していますとの報告がありました。

以上で会議は終了しました。



広報委員 松崎 広昌

中央区 ちゅうおうく

令和3年4月役員会



4月23日(金)に令和3年度最初の役員会が開催されました。
役員会は三密を避けるために午前・午後と時間を変え、地域班・職群班を3ブロックに分けて開催されました。

年度初めにあたり、松山委員長から令和2年度の総括と、令和3年度の基本方針がパワーポイントを使って発表されました。

◆令和2年度総括◆

令和2年度は、コロナの影響や公共関係の大幅な受注減による配分金の減少、並びに、思わぬ退会者の増加で会員数は760名と前年度より減少し、2年度目標を大きく下回りました。



◆令和3年度方針◆

当センターは高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図る共に、活力ある社会づくりに寄与するために、適切な事業展開と法人運営に努めます。

各事業の実施に当たっては、適切な新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止策を講じます。

①会員拡大—3年度目標948名

②就業領域の拡大—介護分野などへの進出

③安全適正就業—事故撲滅と健康診断

④効率的な事業運営—将来を見据えた検討

続いて、ここ数年就業上の事故が多発し、保険会社からも敬遠されるような事態を憂慮して、柳原安全・適正就担当から詳細な事故発生状況の説明と注意喚起がなされた。

先に実施された剪定刈払除草の安全講習会並びに刈払除草実技講習会の状況などを踏まえて、人身事故、賠償事故撲滅、健康診断の受診促進などに関する基本的な注意事項が紹介されました。

広報委員 大津 英世

南区 みなみく

パソコン教室 待望の再開



コロナ禍で昨年末から途絶えていたパソコン教室が約4カ月ぶりに再開しました。

4月6日の午前の部には南出張

所に従来の会員4人と新加入の会員3人の計7人が参加、講師の高倉鎌一郎さん(写真)も驚くほどの熱気あふれる教室となりました。この講座は6年前から続いており今では会員同士の楽しい交流の場となっている程です。

当日初めて参加した奥田健治さんは、「色々な情報を得るために参加しました。楽しくて時間の経つのが早いです」と感想を述べていました。



講師の
高倉鎌一郎さん

剪定希望者・初心者講習会



新たに剪定業務に挑む3人の会員を対象とした技術講習会が4月8日に南出張所2F会議室に於いて開催されました。

この日の講習会は剪定に必要な知識や技術の数々を実技ではなく講義形式で習得しようというねらいで実施されました。

剪定班職群班長の竹原捷司さんの指導で、作業の基本的な技術や知識から刃物の研ぎ方に至るまでの微に入り細を穿った説明に、出席した初心者会員は熱心に聞き入っていました。

この日の講習が今後の作業の安全と依頼者の満足できる剪定作業につながっていく、その事が今回最大の狙いです。



塩手さん
佐藤さん
竹原班長

広報委員 伊藤 建規

✿

✿

就業先情報

✿

✿

るうてる愛育園様(東区)



るうてる愛育園は、社会福祉法人一羊会が運営する二つ目の愛育園として昨年4月に東区三苦2丁目に開園したフレッシュな保育園です。三苦の地は、1951年7月に日本福音ルーテル教会米国宣教師ヘレン・H・ハーダー女史によって、聖ペテロ教会付属の保育園(奈多愛育園)として開園したところで、奈多愛育園は、1985年奈多団地に社会福祉法人一羊会として新築移転し、三苦を離れていましたが、近年の待機児童の増加などを勘案して、るうてる愛育園の開園に至ったそうです。

園舎の周りには松林が広がり、自然に包まれた静かな環境に恵まれ、快適な設備が整っています。

園児は、0歳児から5歳児まで90名、浜砂志津子園長をはじめ25名の先生方が「ひとりひとりを大切に」をモットーに、心身ともに健康で明るい子どもに育つようにキリスト教保育を実践しています。

シルバー人材センターからは、男性3名が就業しており、交代で駐車場内の案内と安全確認を中心に清掃や花壇への水やりを午前・午後それぞれ2時間行なっています。園長先生から「お仕事も丁寧なされ、優しいお声がけで園児たちも慣れ親しんでいます。本当によくしていただいております」とお言葉をいただきました。



広報委員 宮川 洋



てしま またき
手島 又喜さん

80歳(中央区)

【入会のきっかけ】

久留米市の祐誠高等学校の教師を50年間勤めました。

退職後は悠々自適ともくろんでいましたが、その後何か少しでも社会に役に立つことをと考えるようになり、平成29年3月に自発的にシルバー人材センターに入会しました。

【入会後の就業について】

平成29年5月から舞鶴公園の管理者補助をし、主に公園内の植栽の管理をしています。

今年は五輪聖火リレーが行われるということで、

その前に園内の全てのプランター(花壇)の植え替えを行いました。

その後もアジサイの手入れや水仙の株分けなどをして、公園整備に努めています。

【これまでの経歴と今後の目標について】

祐誠高等学校では43年間自転車競技部の指導を続け、その間インターハイや国体などで4度の全国制覇を遂げ、84名のプロ競輪選手を育てました。

平成30年度の秋の叙勲では福岡県自転車競技連盟理事長として「旭日単光章」を受賞し、その他にも「福岡県文化賞」や「久留米市ふるさと市民賞」などの表彰を受けました。

こぎ続けなければ自転車は止まってしまいます。そのことを肝に銘じて、これからの人生を有意義に生きていきたいと思っています。

また、元気で体力が続く限りはこれからも社会奉仕に努める覚悟であります。

広報委員 大津 英世

会員のひろば

城南区

福山 喜久枝会員



「帝釈天」 きり絵

和紙とカッターで制作するきり絵です。彩色もすべて和紙です。
染め和紙の微妙なグラデーションを楽しんでいます。
城南出張所隣「さんしゃい城南DonDon」で月一回教室を開いています。興味のある方は見学において下さい。お待ちしております。

早良区

山中 昭義会員

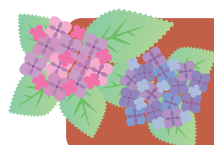


「鬼滅の刃」 きり絵



「虎雲聖不動明王」 きり絵

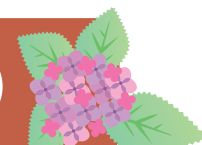
料理技術向上の為、昔より体裁や美観を整える存在として使われていた笹葉蘭切りの伝統を切り絵に応用しました。紙を包丁で切り、ばらけないよう繋げています。



わが町ぶらり散歩

～板付遺跡「国指定史跡」～
(博多区)

78



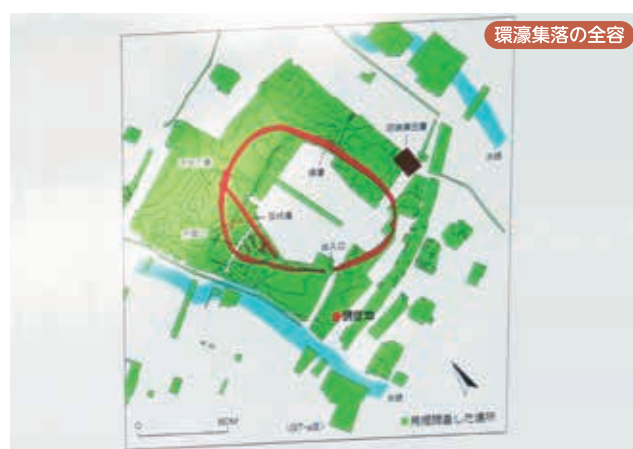
板付遺跡弥生館の山口館長(学芸員)に色々話を聞くことができました。

縄文土器と弥生土器が共伴している日本でも非常に珍しい日本最古の環濠集落であります。

この遺跡には資料館として弥生館という建物があり館内には弥生時代に出土した銅矛とか銅剣などが展示されています。



板付遺跡弥生館



環濠集落の全容

私(広報委員)もこの板付地区に住んでいた頃は子供たちと週末に弥生館で、火起こしの体験などをしていました。

この板付遺跡群は午前9時から午後5時までの開館です。12月29日から1月3日までが休館日です。

なお、現在はコロナ禍の為火起こしの体験は残念ながら休止中です。

広報委員 松崎 広昌

板付遺跡の歴史と発見

- 1867年(慶応3年) 通津寺境内より銅矛が5本出土されたのを皮切りに百年以上にわたり発掘調査が続けられています。
- 1976年(昭和51年) 「国指定史跡」に指定されました。
- 1992年(平成4年) 「板付遺跡弥生館」が開館。
- 1995年(平成7年) Aゾーンに(環濠集落)も開園しました。



アクセス

- 博多駅ターミナル 13番乗り場から板付団地第二下車
- 西鉄大橋駅東口から板付団地第二下車

住所

福岡県福岡市博多区板付3丁目21-1
電話:092-592-4936



いいはなし

駐輪場のスタッフの皆さま
(西新駐輪場《早良区》)



駐輪場のスタッフの皆さま

いつも大変お世話になっています。今日、息子は城南高校を卒業します。3年前、入学式の日自転車に預けに来た時、糸島から通学することに、定期券だの駐輪場だの、どのように手続きをしていいのかわからない親子にやさしく声をかけてくださり、不安な中に暖かさを感じました。この方たちが、毎朝子どもたちの背中を押してくださるのだと、とても親として安心しました。通学しやすいように自転車を守って下さり、整理整頓して下さい、感謝いたします。子どもの失礼な態度もあったかと思ひます。お詫びいたします。

3年間、ありがとうございました。

城南高校 保護者

広報委員 金田 博保

令和3年度 事故発生状況

傷害事故	4件
賠償事故	3件
自動車事故	0件
合 計	7件 (前年同月比+5件) (令和3年4月)

(令和3年4月現在)

令和3年度、4月単月で7件の事故が発生しました。前年度からの発生の勢いが止まりません。

ヒューマンエラーの原因の一つに「危険軽視・慣れ」があります。ベテランになると危険を軽視する傾向が出て「事故が起こるわけがない」「このくらいは大丈夫」と危険を軽視するのです。1mの高さでも落下して打ち所が悪ければ死に至ります。他のセンターですが、剪定で安全帯を使用しなかった、ヘルメットを着用しなかったベテラン会員が命を落とした報告があります。とても悲しく、悔やまれます。過信は絶対にしてはいけません。「1m＝一命取る」

令和3年度 実績報告

会員数	6,779名
男 性	4,165名
女 性	2,614名

就業者数	3,143名
就 業 率	46.4%
事業収入	1億7,520万円

(令和3年4月現在)

令和3年度会費の口座振替について

シルバーだより4月号(第177号)でお知らせしたとおり、5月20日に会費の口座振替を実施しました。預金残高の不足などで口座振替ができなかった方を対象に、下記の日程で再度口座振替を実施します。振替日の前日までに、登録の預金口座に入金をお願いします。

口座振替実施日／令和3年7月20日(火)

「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお問い合わせをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

[HP] <http://www.fukuoka-sjc.org/> [e-mail] honbu@fukuoka-sjc.org